

令和5年度

「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」

令和5年5月

高砂市農業委員会

令和5年5月8日

高砂市長 都倉 達殊 様

高砂市農業委員会
会長 北野 益生

はじめに

わが国の農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加、また、イノシシ、アライグマなどの有害鳥獣による農作物への被害、そして、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う農作物の消費の減退とロシア政府によるウクライナに対する侵攻により、燃料や肥料の価格が高騰し農業者にとって厳しい状況が続いています。

このような状況の中、国は、人・農地の関連施策の見直しを行うため、農地関連法を改正しました。これに伴い本市農業委員会では、令和5年3月に「農地等の利用最適化に関する指針」を策定し、遊休農地の発生防止・解消について、担い手への農地利用の集積・集約化について、及び新規参入の促進について具体的な目標と推進方法を定め農地利用の最適化活動を行っているところです。

これらの取り組みを推進していくため、農業委員会等に関する法律第38条の規定に基づき意見書を提出しますので、よろしく申し上げます。

1 遊休農地の発生防止及び解消について

- (1) 農地の持つ多面的機能を確保し良好な生活空間を守るということで、本市においては、兼業農家、小規模農家が農家のほとんどを占めており、最も重要な役割を果たしております。その兼業農家、小規模農家では農業機械を新しく購入しようとしても農業機械が高額なため購入を諦め、そのまま離農してしまうケースが増えてきています。農業機械等の購入のための支援や施策を講じていただきたい。
- (2) イノシシ、アライグマなどの有害鳥獣による農作物への被害により耕作意欲が下がり遊休農地が多くなる可能性があります。農家個人で田畑への侵入を防ぐための電気柵、金網柵の設置を行うための支援や施策を講じていただきたい。
- (3) 人口減少や食生活の多様化に加えて更に新型コロナウイルス感染症による外食産業の米需要の減少によって年々米価が低下しています。また、肥料や燃料高騰により農業を継続するのが難しくなっているため、支援や施策を講じていただきたい。

2 担い手への農地利用の集積・集約化について

- (1) 農業の競争力を強化するためには、農地の大区画化の基盤整備により担い手への農地集積・集約化や農地の高付加価値等を図ることが重要であります。国庫補助事業対象とならない本市において、農地の大区画化等を行うための支援や施策を講じていただきたい。
- (2) 本市の農地は、市街化調整区域内と市街化区域内にあり、農業振興計画や都市農地振興基本計画がありません。令和5年度、6年度で地域計画の策定を行うにあたり、今後の本市の農地に対する方向性を明確にした計画策定をお願いします。また、地域計画の策定が出来ればその計画を実現していくための支援や施策を講じていただきたい。

3 新規参入の促進について

- (1) 農業後継者の確保や新たな担い手の確保が重要であるため、農業関係機関

からの支援体制の強化と財政支援の拡充を図り、農業が職業として確立出来るような施策を講じていただきたい。

- (2) 新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間、市・農業関係機関がチームとなってサポートしていく体制を構築していただきたい。